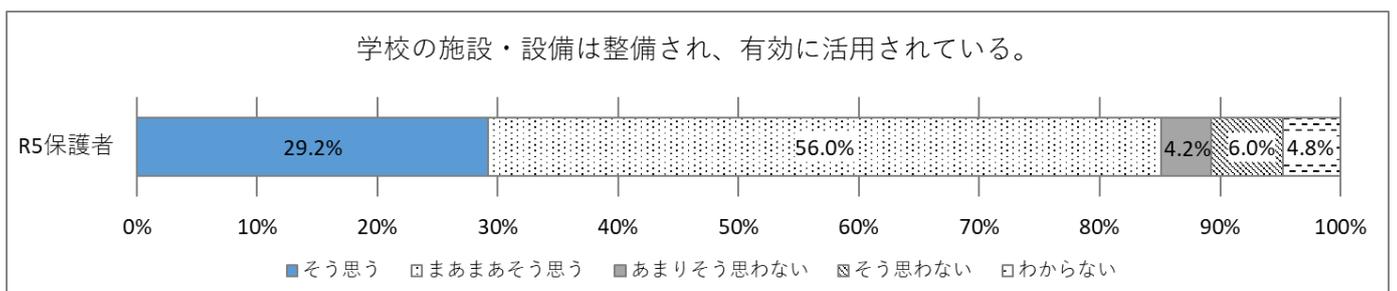
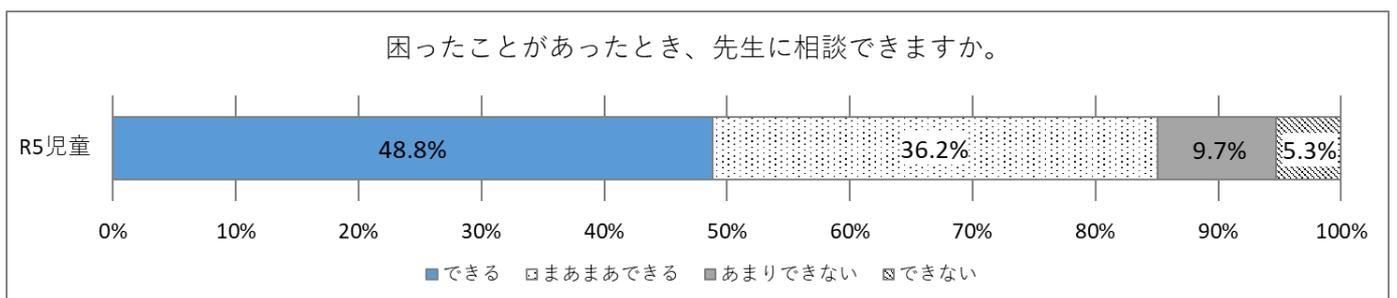
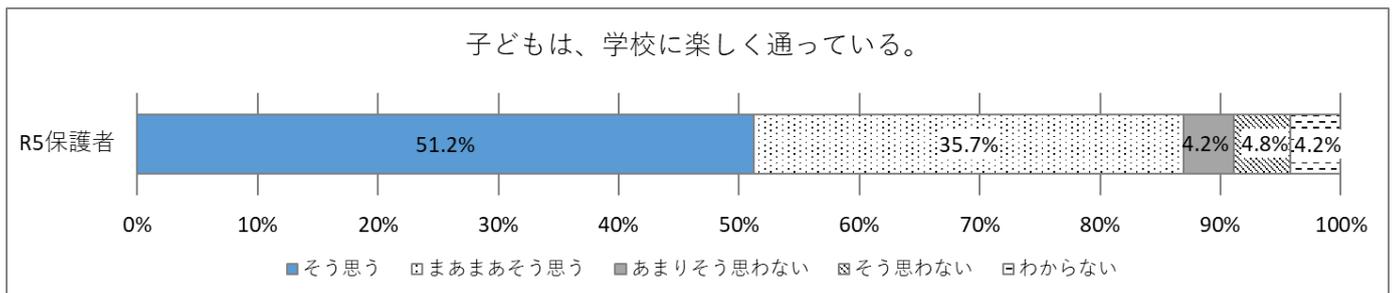
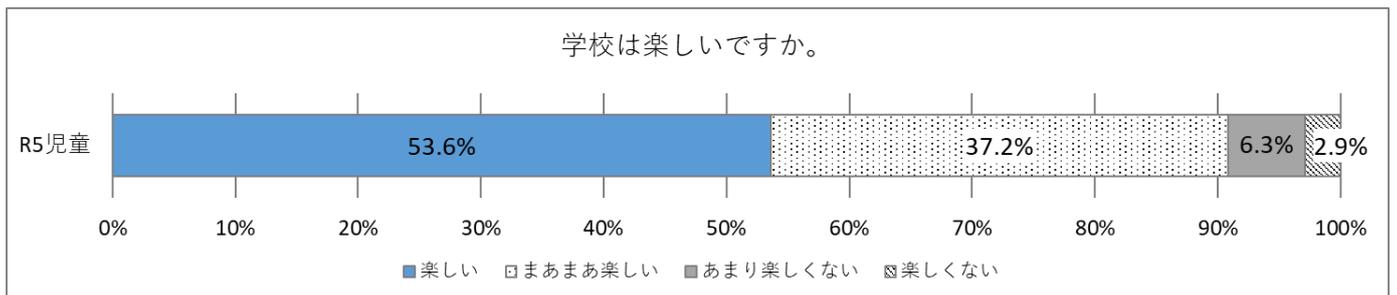


令和5年度 学校評価(保護者・児童)アンケート結果について

川西市立清和台南小学校
校長 坪田 城達

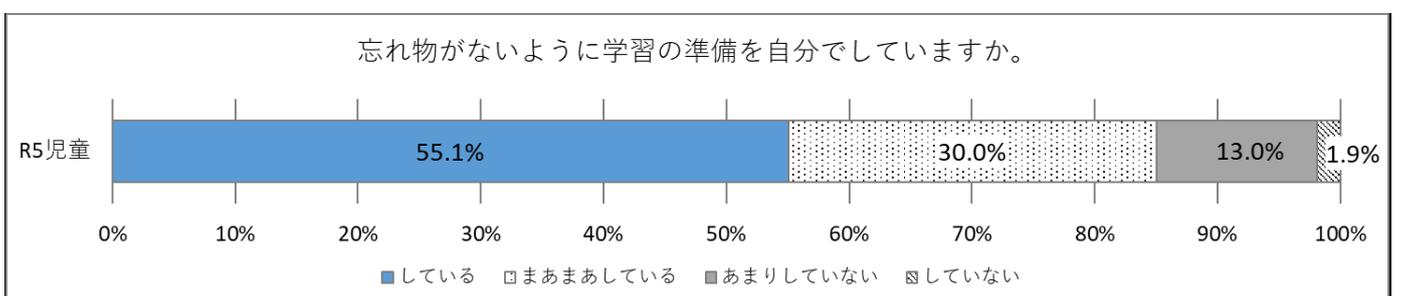
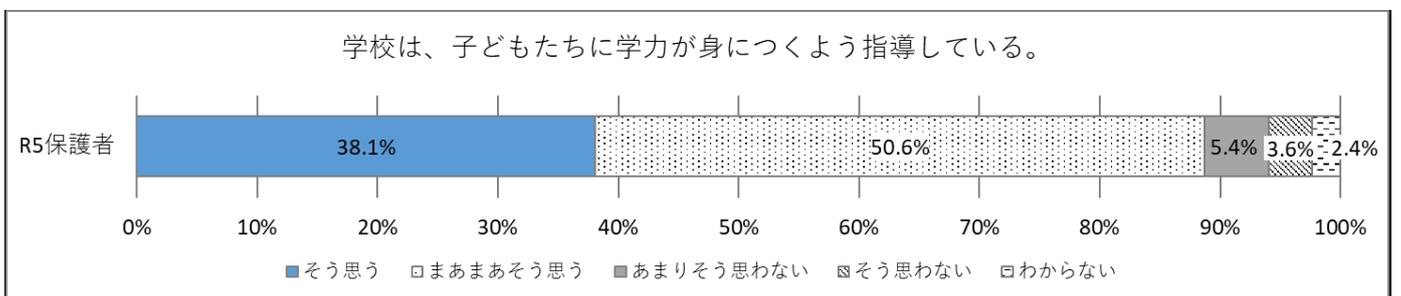
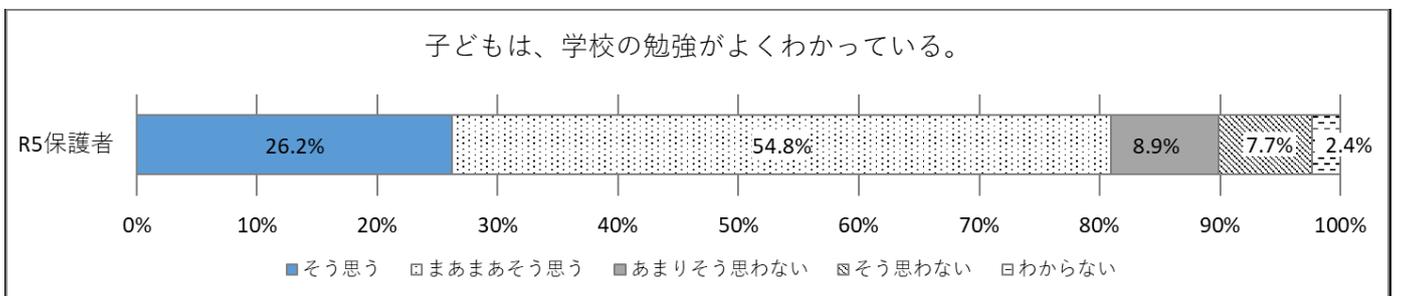
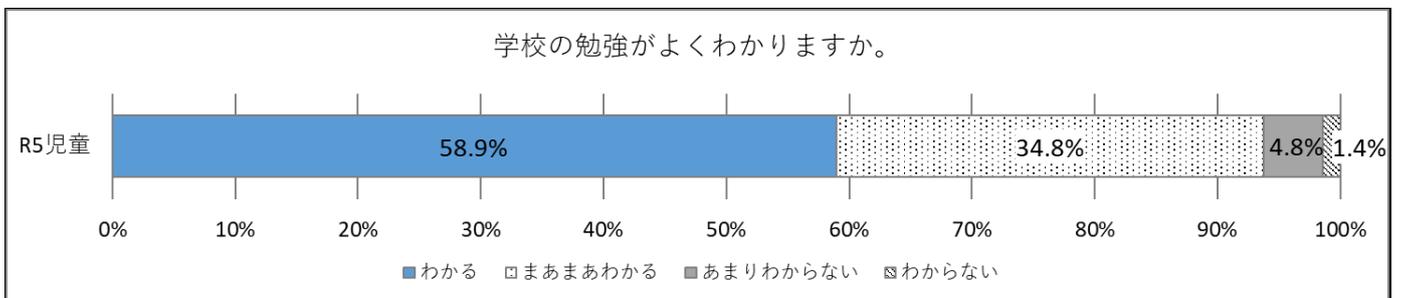
2学期末に清和台南小学校の教育活動について学校評価アンケートをお願いいたしました。

その結果を踏まえ、本年度の教育活動に対する自己評価を行い、その内容も含めて本校学校運営協議会で講評いただきましたので、ご報告いたします。これらの結果につきましては、今後の教育活動に活かしていきたいと考えております。今後も、本校教育活動の推進にご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

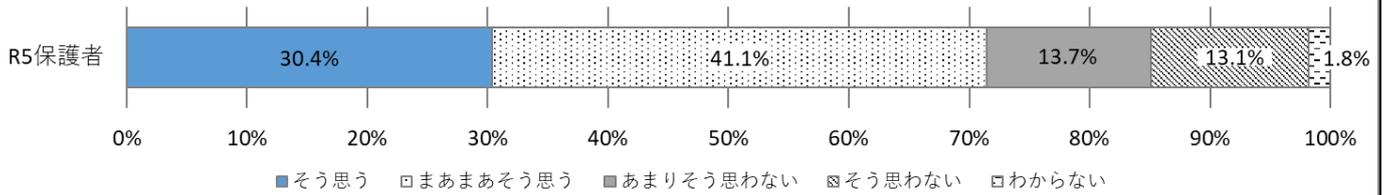


「学校は楽しいですか。」の質問に対し、「楽しい」「まあまあ楽しい」という回答の割合が90%以上を占めています。今年度は学年相互の関係を深めるために学年をまたいだ縦割りでの清掃活動を行いました。また、計画委員主催の清南オリンピックなどのイベントや各学年、委員会が主催のイベントをはじめ、自分たちで企画したことを学校全体に広げて実施できています。月ごとに何かしらのイベントを開催しているので、一人ひとりの児童が興味あるものに参加できたこともあり、学校は楽しいと感じる児童が多くなったのではないかと考えられます。しかし、その反面「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答している児童も10%近くいるので、このような児童の意見や気持ちも汲み上げられているか省みる必要があります。また、「子どもは、学校に楽しく通っている。」の質問では、「そう思う」「まあまあそう思う」といった肯定的な回答が90%近くありました。その一方、「分からない」といった回答が5%近くあるので、学年だよりやホームページをより充実させるだけでなく、学校支援ボランティアさんや保護者の方に授業に参加してもらう機会を増やし、開かれた学校づくりを進めていきます。

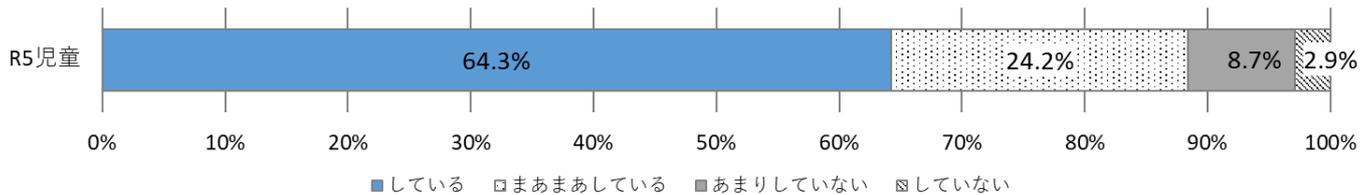
「困ったことがあったとき、先生に相談できますか。」の質問に対しては、およそ15%の児童が「あまりできない」「できない」と回答しています。来年度からはチーム担任制を取り入れることにより、一人の児童に対してこれまでより多くの教職員が関わるような体制を整え、児童が相談しやすい環境づくりを進めていきます。



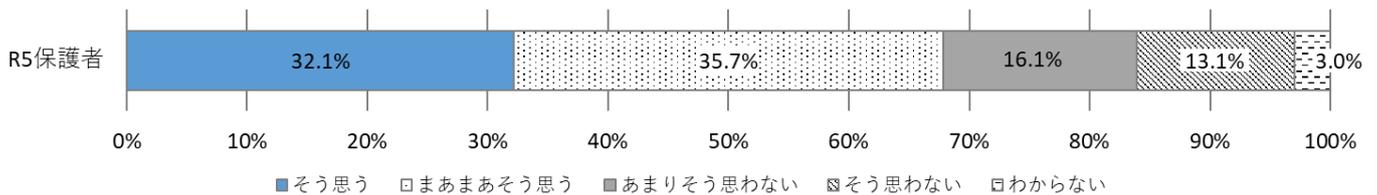
子どもは、忘れ物がないように学習の準備を自分でしている。



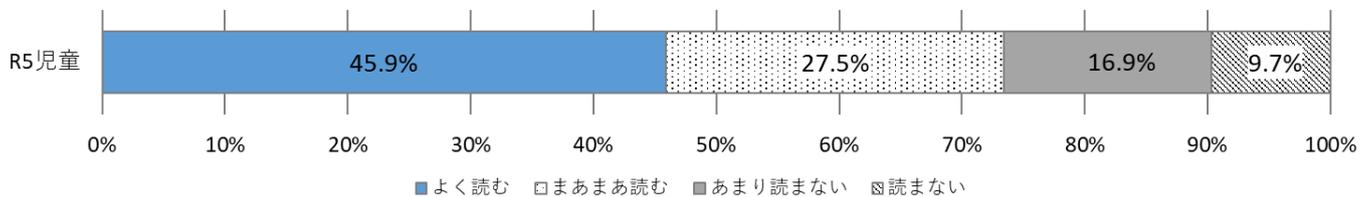
自分から進んで宿題などをしていますか。



子どもは、すすんで宿題などをしている。



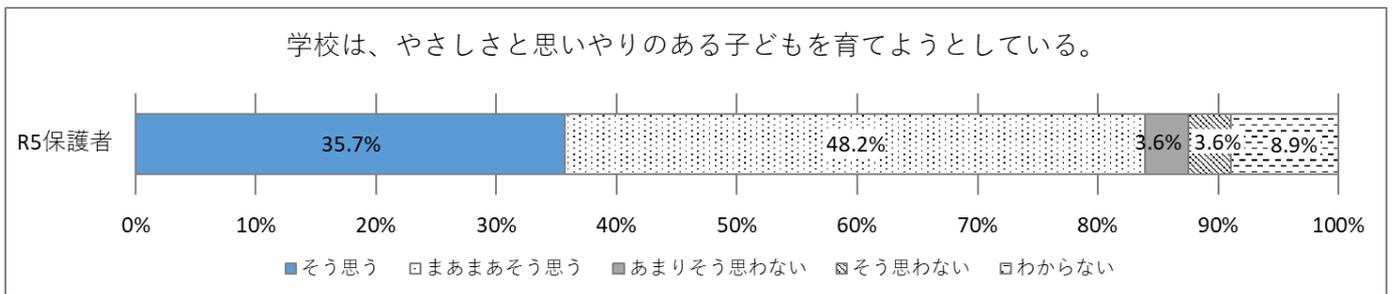
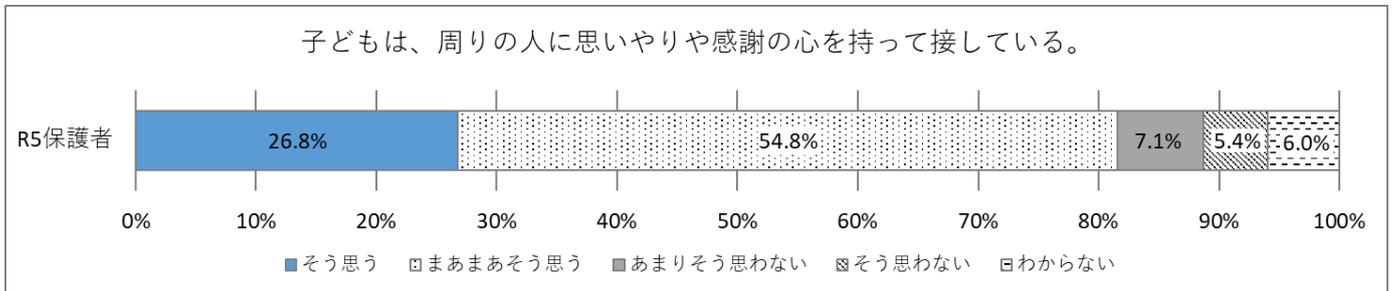
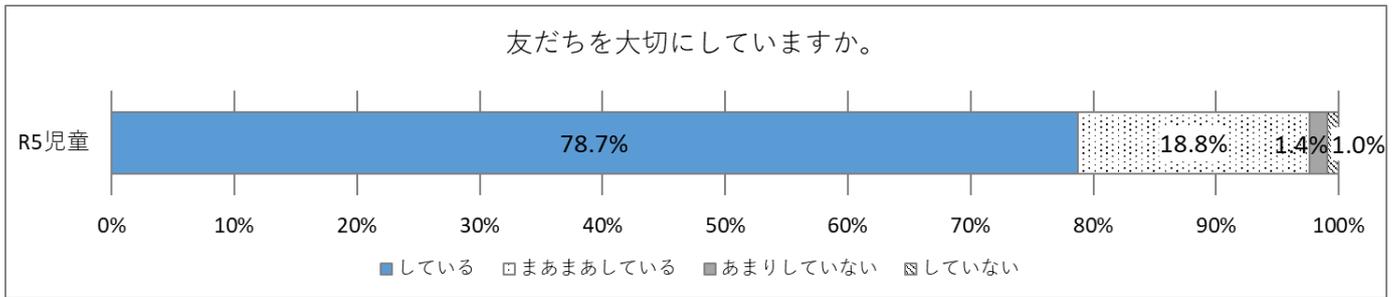
本をよく読みますか。



「学校の勉強がよくわかりますか。」「子どもは、学校の勉強がよくわかっている。」という2つの質問について、多少の差異はあるものの80%以上が肯定的な回答となっています。特に児童については60%程度が「わかる」と回答しており、学校での授業に前向きに取り組み、達成感を味わうことができているのではないかと考えられます。来年度からは教科担任制を取り入れ、教師の専門性をさらに高めるとともに、一人ひとりの児童に寄り添った授業づくりをより一層進めていきます。

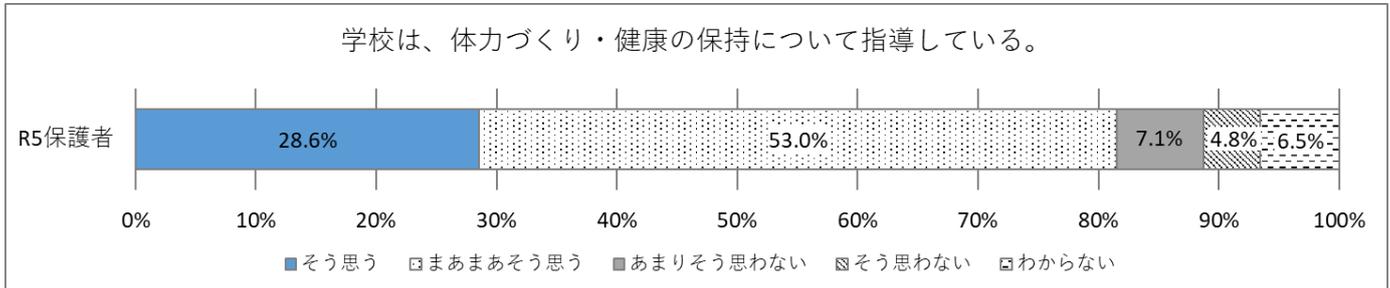
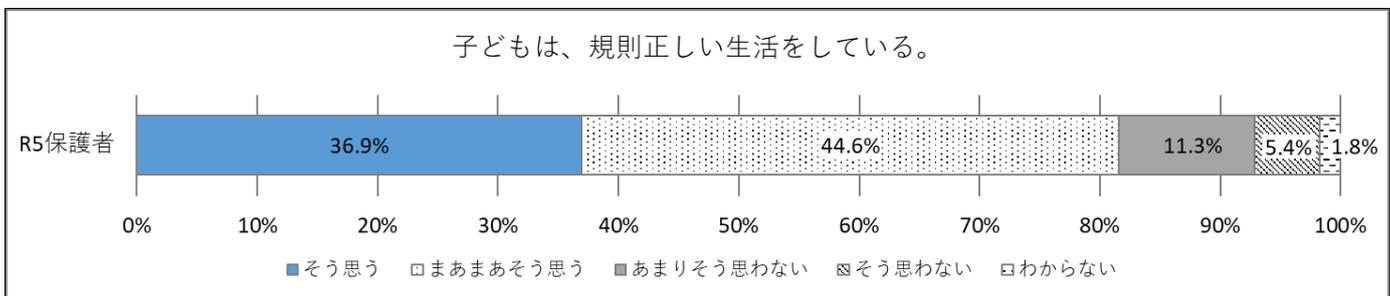
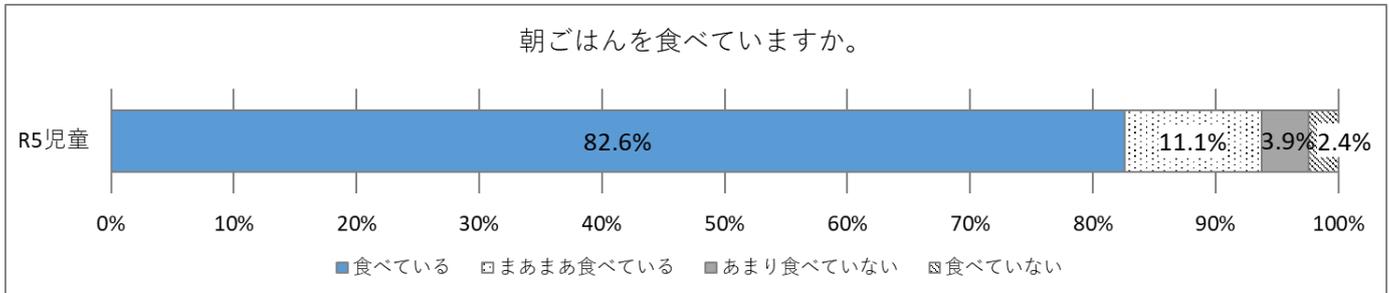
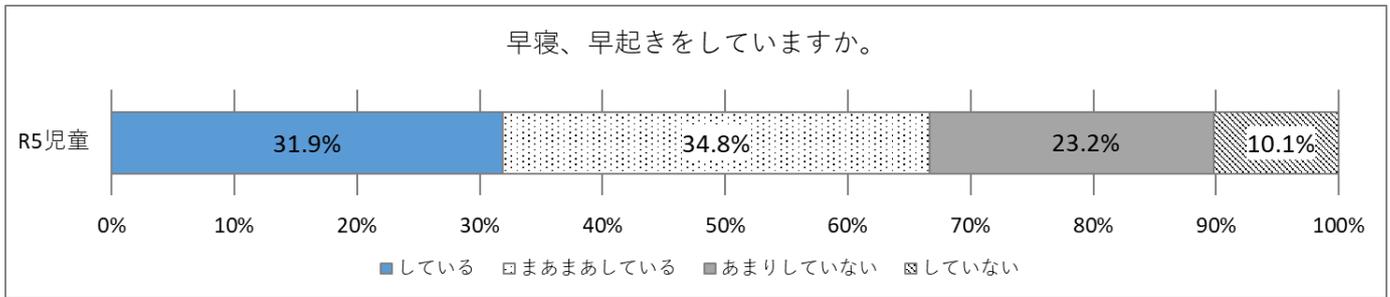
忘れ物や宿題に関する質問では、85%以上の児童が肯定的な回答をしているものの、保護者の結果とは少し差が見られます。今後も学校では学習習慣を身につけられるよう努めていきますので、家庭でも引き続きコミュニケーションを取りながら児童の様子を見守っていただければと思います。

「本をよく読みますか。」という質問では、肯定的な回答の割合が多い一方、「あまり読まない」「読まない」という回答も25%程度あります。今後も学期ごとに実施している読書週間の取り組みを継続させていくとともに、図書ボランティアの方の力も借りながら、児童が活用しやすい図書室の環境整備をすすめていきます。



昨年度同様、教職員や児童の人権意識を高める活動として学期に一度「人権啓発週間(ハートハッピー週間)」を設定しました。それとともに、特別活動の取り組みを通して、児童が課題に対して自分の思いを伝えるだけでなく、意見を聞くことで、相手を尊重し思いやりといった姿勢が育まれています。また、全学年での縦割り掃除や、清南オリンピックなどの異学年で交流する行事もおこなわれ、低学年から高学年まで一緒になって助け合いながら活動する様子が見られました。その結果、「友達を大切にしていますか。」については約97%の児童が「している」「まあまあしている」と回答しています。今後も引き続き、自己肯定感を高めるような働きかけや、思いやりを育む人権教育を行っていきます。

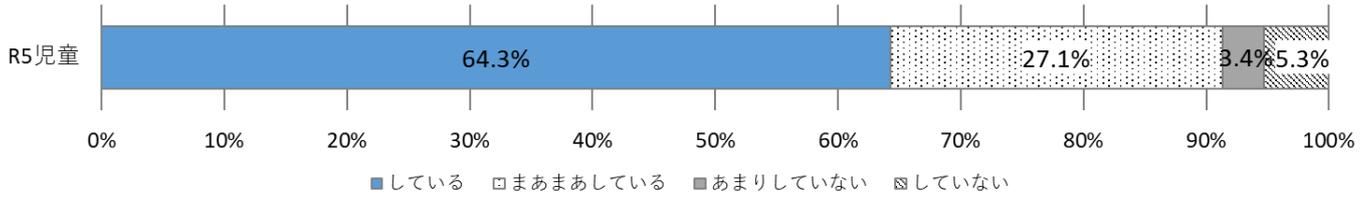
保護者アンケートの結果に関しては、「子どもは、周りの人に思いやりや感謝の心を持って接している。」と「学校は、やさしさと思いやりのある子どもを育てようとしている。」の項目について、80%以上が肯定的な結果となりました。職員の人権研修会では、人権に対する知識を深めるだけでなく、人権学習の実践についても交流し、児童に対しての人権教育にもつながるよう取り組んでいます。今後も引き続き、児童が人権意識を高められるよう、また、安心して学校生活を送ることができるように努めます。そして、ホームページや通信等で保護者の方にも取り組みの内容をお知らせし、家庭や地域と連携しながら人権教育をすすめていきます。



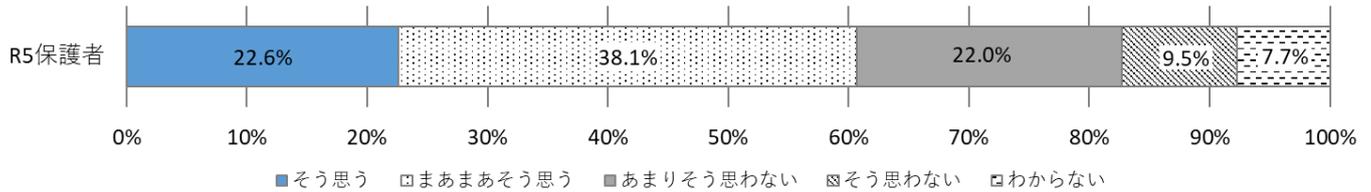
「早寝、早起きをしていますか。」の質問から、およそ1/3の児童が睡眠を十分に取れていないと感じているようです。今後はほけんだよりなどを活用し、小学生には9時間から12時間睡眠が必要なことや睡眠の大切さを伝えていきます。一方、「朝ごはんを食べていますか。」の質問から、朝ごはんを食べる習慣が身につけている児童が90%以上いることが分かりました。保護者の方にご用意いただいているからこそその結果だと考えられます。また、保護者アンケートの「子どもは、規則正しい生活をしている。」の質問でも、約80%の肯定的な意見が見られます。引き続き、学校でも朝ごはんや睡眠の重要性について指導していきます。

「学校は、体力づくり、健康の保持について指導している。」の質問について、水泳や全校で行う運動会が開催され、本格的に学校活動が再開されたことで、肯定的な意見が多いのではないかと考えられます。今年度は体育の授業以外にも、委員会活動を通してスポーツ大会の開催など、休み時間を活用した取り組みを行いました。次年度以降も児童が楽しみながら体力づくりができるように努めます。また健康の保持についても知識の定着、実践力が強化できるように指導していきたいと考えます。

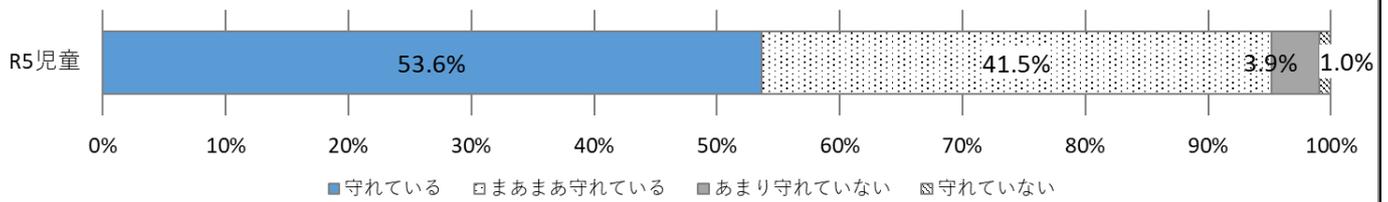
自分からすすんであいさつをしていますか。



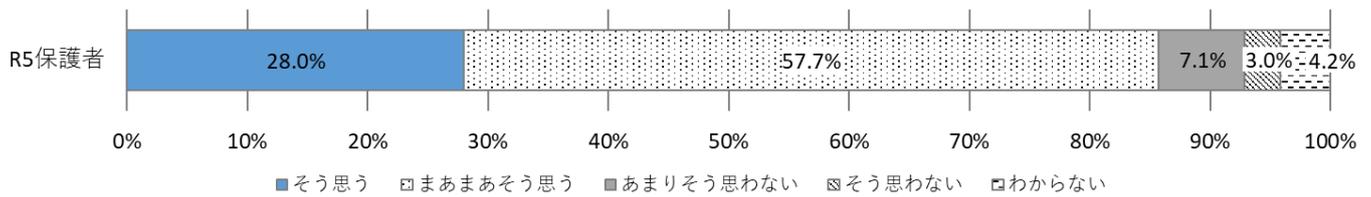
子どもは、自分から進んであいさつをしている。



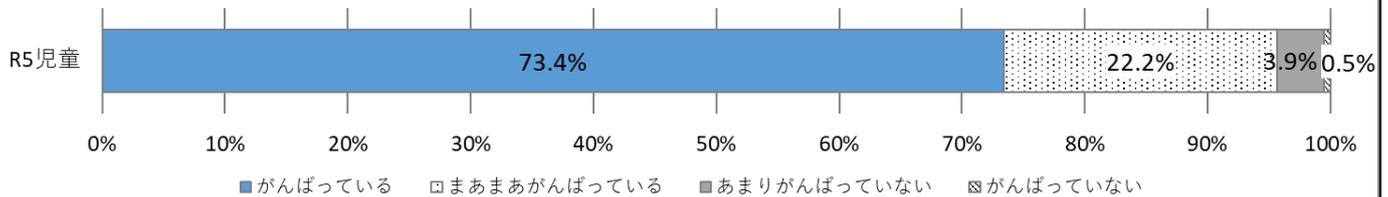
社会のルールが守られていますか。



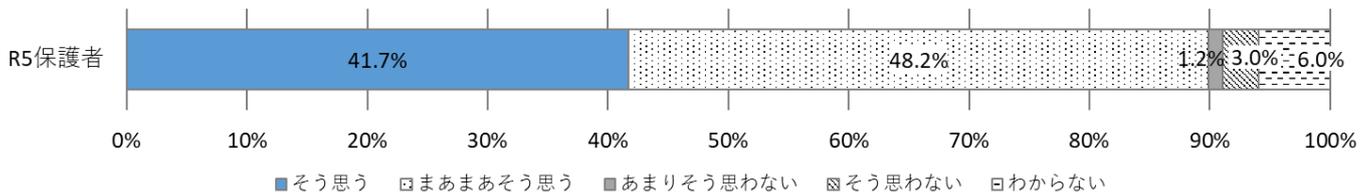
子どもは、社会のマナーやルールを守っている。



学校のそうじをがんばっていますか。



学校は、子どもが安全な学校生活を過ごせるように努めている。

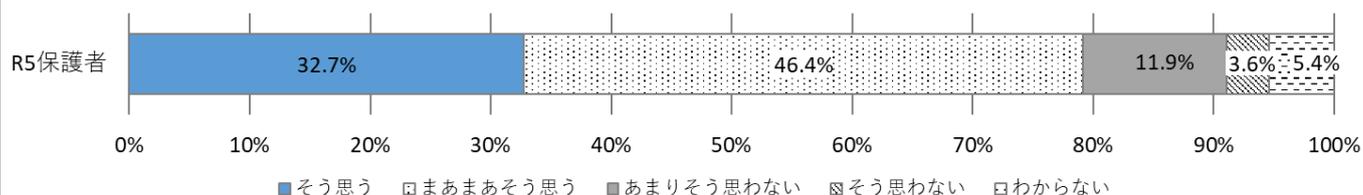


あいさつの質問では、児童アンケートと保護者アンケートの結果に大きな差があることがわかります。「自分から進んであいさつをしていますか。」という質問に「している」と答えた児童が60%を超えているのに対し、保護者の方は20%ほどしか「そう思う」と感じていないことがわかります。また「あまりそう思わない」、「そう思わない」と感じている保護者が30%以上を占めています。相手に届くあいさつができるよう、その意義について再度確認していきたいと思ひます。さらに毎日行っている「あいさつ運動」の運用方法も児童会を中心とした子どもたちと相談し、校内だけでなく地域に向けてもあいさつの輪を広げられるよう見直していきまひす。

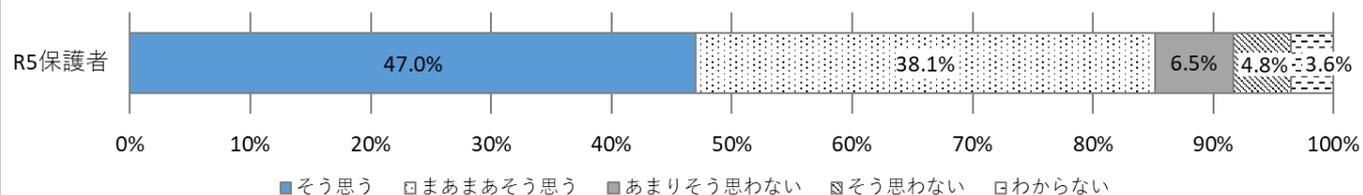
社会のマナーやルールの質問についても、児童と保護者のアンケート結果に少し差があります。子どもたちの社会は今後どんどん広がっていきます。学校は保護者や地域の方と連携し、変化が大きい社会に通用する力を育むための教育活動に努めます。

「学校のそひじをがんばっていますか。」という質問は、肯定的に答えた児童が大半を占めています。来年度は、そひじでは毎日ではなくりますが、引き続き一生懸命取り組んでいけるように指導していきまひす。「学校は、子どもが安全な学校生活を過ごせるよう努めている。」という質問については肯定的な意見が多いですが、「そう思わない」と答えた保護者の方がおられることも忘れず、児童が安全に安心して登校できる学校づくりに努めていきまひすと思ひます。

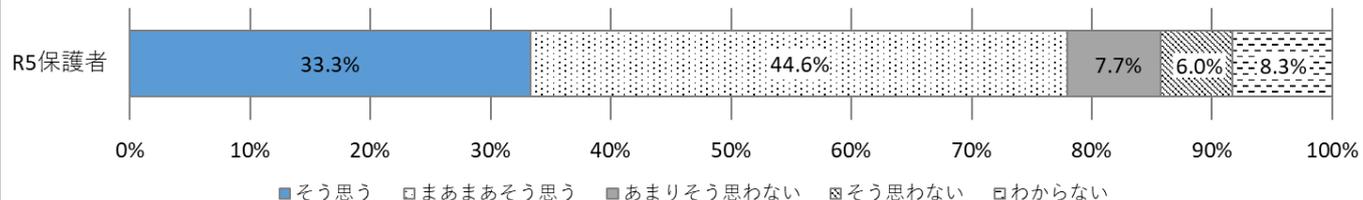
学校の様子がよくわかる。



子どものことについて、学校に相談できる。



様々な取り組みや行事を通して、学校・家庭・地域が連携し、子どもの教育に当たっている。



「学校の様子がよくわかる。」の項目では、「そう思う」「まあまあそう思う」の回答が79%でした。学校ホームページをリニューアルし、頻繁に更新を行っておりますので、学校の様子についてはそちらをご覧ください。また、学校行事以外にも子どもたちの様子がわかる機会を今後検討していきます。

「子どものことについて、学校に相談できる。」の項目では、「そう思う」「まあまあそう思う」で85%の回答がありました。ほとんどの保護者の方が子どものこと等について、気軽に担任に相談していただいていることが分かりました。相談いただくことで子どもたちがより安全、安心に過ごせる学校になると考えます。今後も何かありましたらすぐに相談いただければと思います。また、今年度は、11月より教職員の勤務時間の見直しのため、学校への電話連絡時間が17時までとなりました。そのため、学校へのご相談は、連絡帳やお時間のあるときに、お電話でお伝えいただければ担当者から連絡いたしますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

「様々な取り組みや行事を通して、学校・家庭・地域が連携し、子どもの教育に当たっている。」の項目は「そう思う」「まあまあそう思う」で77%の回答になりました。本校では、今年度より保護者の方を中心とした、学校支援ボランティアにご協力をいただいております。内容としては、校区内の校外学習や授業でのサポート、清掃活動などをお願いし、これまで以上に保護者や地域の方々と連携する機会が増えました。そうした活動風景は学校ホームページでもご紹介させていただいております。また、学校支援ボランティアの新たなご参加も募集しております。参加可能な方はご連絡いただくと幸いです。学校としては、こうした活動をより一層生かせるように活動内容を見直しながら、学校・家庭・地域で連携して、子どもの教育に当たっていきたいと考えております。

3つの項目を通し、今年度は学校・保護者・地域との連携のあり方が大きく変化しました。こうした変化の中で出た成果と課題を見直しながら、新しい時代のよりよい連携方法を考え取り組んでいきます。